

愛犬 モモへ

ラジオネーム：きびだんじ

モモ、今、この手紙を書へいじがとても辛いけれど、あなたに伝えたいことがたくさんあります。

小学校1年生の時、知り合いに保護されていたところを引き取りました。当時生後4か月のキャバリア、モモと出会いました。

私の最愛の家族であり、日々生活する中で特別な存在でした。

14歳という長い犬生を全うしたモモ。あなたは小さな体でしたが、本当に力強く、優しい存在でした。毎日のように散歩に行くことが楽しみで、あなたと一緒に街を歩いていると、私はとても幸せでした。

あなたが尻尾を振りながら嬉しそうに歩く姿を見ると、私も元気をもらった気がしていました。

高校生になると、なかなかあなたと遊んであげることが減ってしまいましたね。でも、それでもあなたは私のそばにいてくれました。失恋した時、母に怒られて落ち込んでいた時、あなたはいつも私の傍に

寄り添ってくれました。あなたの温かい存在が、私の心を癒してくれました。ただ、後悔していることもたくさんあります。もっとたくさん遊んであげたり、かわいい服を着せてあげたりしたかった。もっともっとあなたに愛情を注ぎたかった。でも、学生だった私ができる限りのことをしてあげたつもりです。

モモ、この手紙を書きながら、あなたのことを思い出すと涙が止まりません。でも、あなたが私にくれた幸せな思い出は、永遠に私の心に残ります。同じ布団で寝たこと、モモのお気に入りのタオルで綱引きしたこと、お田を落とすこと、おぼへてくれたモモの顔…。

最後に、お礼を言わせてください。私の人生に寄り添ってくれて、本当にありがとうございます。あなたがいてくれたことで、私は強くなり、愛されることができました。

またいつか会えたら、いつもの道を散歩しようね

あなたが天国でも幸せであることを願っています。

リクエスト曲

小湊くんの犬のうた／コブクロ

4分40秒